

ニカラグア定期報告（2024年6月）

【要旨】

内政面では、財務・公債大臣が交代した。外交面では、ラウレアノ・オルテガ大統領顧問らの露訪問、当国のSICA議長国就任、初の駐ニカラグア・アルジェリア大使の着任、人権侵害事案等を理由としたニカラグア政府批判のOAS総会決議案採択などがあった。

【主な出来事】

1 内政

（1）国会による組織犯罪等対策大統領審議会の創設法案可決

ア 5日、当国国会は、組織犯罪等対策大統領審議会（El Consejo Presidencial de Coordinación, Cooperación e Intercambio para la prevención, enfrentamiento y judicialización de los delitos de crimen organizado, narcotráfico, lavado de activos, financiamiento al terrorismo, financiamiento a la proliferación de armas de destrucción masiva y otros delitos conexos）の創設法案を全会一致で可決した。同審議会は、麻薬密輸、資金洗浄、テロ活動への資金供給、大量破壊兵器拡散行為への資金供給、組織犯罪及び関連するその他犯罪に対処するため関係機関間の調整・連携強化を目的とする組織であり、メンバーは10名の閣僚及び公的機関長らによって構成される。また、この機関は、組織犯罪に由来する犯罪と関連する国家規模のリスクを識別し評価する機能を有し、必要に応じて政策、国家戦略を大統領に提言し、その他（公的）機関を招集する。

イ 同審議会は、金融分析ユニット（UAF）代表、最高裁長官、法務長官（PGR）、中央銀行総裁、検事総長（Fiscal General）、内務相、国家警察長官、銀行監督庁（SIBOIF）長官、その他金融機関長、歳入局（DGI）長、関税局（DGA）長によって構成される。

（2）財務・公債大臣の交代

ア 20日付官報「ラ・ガセタ」における公示を以て、アコスタ財務・公債大臣の辞任が承認された。後任大臣には、ブルーノ・マウリシオ・ガジャルド同省次官が任命された。

イ 28日付官報「ラ・ガセタ」は、20日付で辞任したアコスタ前財務・公債大臣を国際機関担当大統領顧問に任命する旨公示した。

2 外交

（1）「ガザ地区における停戦など」を目指す米国提案のロードマップへのニカラグア政府の支持声明

2日、ニカラグア政府は、バイデン米大統領によるガザ地区におけるイスラエル・ハマス停戦交渉のためのロードマップ提案を評価し賛同する意向を表明した。

(2) ニカラグア政府代表団のサンクトペテルブルク国際経済フォーラム出席

ア 5日～7日、ラウレアノ・オルテガ投資・貿易・国際協力担当大統領顧問、ウエンディ・モラレス法務長官 (Procuradora General)、ワルマロ・グティエレス国会経済・予算委員長等当国政府代表団がロシアを訪問し、サンクトペテルブルク国際経済フォーラム本会議に出席した。

また、この機会に、同代表団は、モスクワで開催された第5回ロシア・ニカラグア軍事技術協カワーキンググループ会合に出席した他、ラヴロフ露外相、Alexander Babakov 露国家院副議長、Vyacheslav Volodin 露国家院議長と会合を行った。さらに、コンスタンチン・チュイチェンコ露司法大臣との会合では、ニカラグア法務庁 (Procuraduria General) との情報交換・協力促進について話し合われた。

イ ロシア滞在中、ラウレアノ大統領顧問は露メディアの取材に応じ、ニカラグアがBRICS加盟手続き中であること、ウクライナ情勢に関してニカラグア政府が露を指示する旨等の発言をした。

(3) 駐北朝鮮大使の信任状写し手交

11日、マヌエル・モデスト・ムンギア・マルティネス駐北朝鮮ニカラグア大使は、Kang Hion IL 北朝鮮外務省儀典課次長 (Director adjunto) に信任状の写しを手交した。

(4) SICA議長国就任及び同事務局長任命問題

ア SICA事務局長任命を巡るニカラグア政府の動き

11日、ニカラグア外務省は、モンカダ外相発SICA加盟国各国外相宛て書簡を発送し、ニカラグア人SICA事務局長が任命され、その違法状態が解消されない限りは、同議長国を引き受けることも、関連会合・活動に参加することもしない意向を示した。

なお、SICA事務局長任命に関しては、テグシガルバ議定書及び2017年6月29日及び2022年8月11日のSICA首脳会合における合意事項に従い、ニカラグア政府は、2023年11月16日に、バルトラク・ジェンスケ元外務次官他3名の事務局長候補リストを提示していた。また、同選出プロセスを完遂するため、ニカラグア政府は、2023年11月6日及び2024年2月6日にそれぞれSICA議長国(当時)に対して、外相級及び同首脳級会合の開催を要請していたものの、全く進展がなかった。

イ ニカラグア政府によるSICA議長国就任受け入れ

15日、(上記の次第を撤回し、)オルテガ大統領及びムリージョ副大統領は連名書簡をSICA加盟各国首脳宛に発送し、ニカラグア政府が、SICAの一連の規約及び議定

書に定められた期間及び方式に従い、当国の次期SICA議長国就任を承認し確約する旨通知した。

ウ SICA議長国就任

29日、ホンジュラスにおいてカストロ・ホンジュラス大統領からモンカダ外相へSICA議長国を引き継ぐ式典が開催された。ニカラグアの議長国任期は、本年12月までの半年間。

(5) アルジェリアとの外交関係

13日、Ali Menguellati アルジェリア大使（同国初のニカラグア大使）がモンカダ外相に信任状の写しを手交した。

(6) 水棲生物資源の持続的利用会合へのジャクソン水産庁長官の出席

19日～20日、ニカラグア政府を代表してエドワード・ジャクソン水産庁（INPE SCA）長官兼IWCコミッショナーが、東京にて開催された日本水産庁主催「水棲生物資源の持続的利用会合（SU会合）」に出席した。

(7) カタールとの相互査免協定の国会承認

19日、ニカラグア国会は、カタールとニカラグアの一般旅券所持者に対する相互査免協定を承認した。今次批准により、一般旅券を所持する両国国民は相互に査証無しで30日間の滞在（60日間の延長可）を許可される。（政府間協定署名：5月21日）

(8) アフガニスタン兼轄大使の任命

21日、ムリージョ副大統領は、マイケル・キャンベル駐中国・ニカラグア大使がアフガニスタン政府からアグレマンを受け、近くカブールにおいて信任状を奉呈する旨発表した。キャンベル大使は、中国からアフガニスタン兼轄大使としての職務を果たす。なお、27日付官報にて、キャンベル駐中国大使のアフガニスタン大使任命が正式に公示された。

(9) OAS総会における「ニカラグア情勢にかかるフォローアップ決議案」採択

26日～28日、パラグアイにおいて開催されたOAS総会において、27日、「ニカラグア情勢にかかるフォローアップ」決議案が無投票採択された。なお、ニカラグアは、2023年11月に正式にOASを離脱している。

同決議案は、米国、カナダ、チリ、コスタリカ、ドミニカ共和国、アルゼンチン、ウルグアイ、ペルー、アンティグア・バーブーダの発議によるもの。

同決議は、ニカラグア政府に対し、全人権侵害の停止を担保するため、法による支配及び人権尊重の徹底など、民主主義関連機関の復興に向けた実効性のある方策を採るよう要請等するもの。

3 経済

(1) 医療施設整備計画のためのサウジアラビアによる借款

6日、アコスタ財務・公債大臣及びサウジアラビアの Abdulrahman Al-Marshad サウジ開発基金執行役員が、マナグアにて、カルロス・センテノ・ラスミナス公立病院建設・インフラ整備計画への9,450万ユーロ（1,030万米ドル）の借款協定に署名した。

(2) 2024年第1四半期GDP成長率

21日、中銀は、プレスリリースを発出し、2024年第1四半期GDP成長率を前年同期比3.7%増と発表した（2023年GDP成長率前年同期比5.2%増）。季節調整済値では2023年第4四半期比0.1%の成長となった。

<主要経済指標>

	2022年	2023年	2024年		
	4月	4月	3月	4月	5月
年間累計インフレ率	4.05%	2.13%	1.52%	1.96%	2.58%
貿易収支（百万ドル）	▲214.3	▲226.6	▲250.6	▲314.4	▲334.4
輸出FOB（百万ドル）	359.2	354.5	386.7	408.7	356.8
輸入FOB（百万ドル）	573.5	581.1	637.3	723.0	691.3
海外送金受取額（百万ドル）	233.9	374.3	399.6	449.4	462.4
外貨準備高（百万ドル/期末）	4,320.7	4,915.4	5,704.5	5,778.4	5,894.3

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））

（了）